

九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No.376

2022(令和4)年 5月15日(日)発行



「～のくせに」という言い方「女のくせに」「子どものくせに」「ジジイのくせに」「田舎者のくせに」など、人を頭から性別、年齢、出身、貧富、職業、能力、宗教、政党、さらに人種、国別などで相手を見下す言い方や見方で、現代社会では許されないことです。

ウクライナ侵略に思う③

◆「NO WAR」のチラシはすごいです。国会にデモに行く時、使わせてもらいます。いつも「はらまち九条の会」は頑張っていますね。(神奈川県川崎市60代女性・電話で)

◆現在の憲法を遵守しない与党の政治家達が、ロシア侵攻の尻馬に乗って、軍備増強や9条の改憲を主張する資格などはない。(60代 男性)

◆本屋大賞の小説『同志少女よ、敵を撃て』を読み、現在のウクライナの戦争と重なり、暗い気持ちになりました。(50代男性・40代女性)

◆戦争で世界的な食糧、ガソリンやLNG、資源不足が深刻になり、特に日本は愚策アベのミクスで円安が加速。外交力ゼロで場当たりの政府の能天気。原稿なしでは説明もできない官房長官や大臣たちの姿にいつも絶望しています。(70代 男性)

▶2022年4月22日『福島民報』の会員さんの投書です

自衛主張の戦争
繰り返さないで
南相馬市・佐藤 邦雄
(無職 90)
ロシア軍の侵攻によって戦場と化したウクライナの惨状が、毎日のように新聞やテレビで報道されている。その映像を見ながら、今から九十年以上前に日本軍が中国の東北部(旧満州)に攻め入った歴史を重ね、思い起こした。

当時の国際連盟の総会
で日本は加盟国から激しく非難された。それでも戦線拡大をやめなかった。その目的は「自衛自衛」であった。国民もほとんどが疑うこともなく戦った。

現在行われているロシアの無法なウクライナ侵攻でも、ロシア側は「自衛の防衛のため」と主張している。これに対して国連総会で、ロシアを非難しウクライナからの即時撤退を求める決議案が
圧倒的多数の賛成で採択されている。どうしてこども「自衛」を名目とした戦争が繰り返されるのだろうか。
ウクライナでは停戦のめどは立っていない。それでも私は平和への願いを諦めない。言論統制の厳しいロシア国内で「戦争をやめて」「プロパガンダにだまされないで」と勇氣ある発信をするロシア人がいるのだから。

《識者の意見》 「9条を変えたら日本が守られるのか」

■「『9条があれば日本が守れるのか』と言われるますが、逆に『9条を変えたら日本が守れるのか』とも問いかけた方がいい。安全保障は軍事だけでなく、多様な選択肢を備えることが重要です」(政治哲学者 松元雅和)

■「戦争放棄の条文を提案した幣原喜重郎などは、9条を原子爆弾の脅威に対処するものと考えた。プーチンが世界を脅す今こそ、60か国が批准する核兵器禁止条約の履行を日本が世界に訴える好機です」(歴史学者 山室信一)

■「日本は武力によらない国際貢献に尽くした結果、「名誉ある地位」を占めることができた。9条という規範は十分すぎるほどの効力を発揮してきました。ロシア侵攻の今、9条の意義はむしろ高まっています」

(一橋大准教授 江藤祥平)

■「国家間の紛争を武力で解決してはいけない。これが、世界の安全保障の唯一の道です。日本も9条を持つ国だから、その立場で世界に主張すべきでしょう」(歌手 加藤登紀子)

ウクライナ侵略に思う④

改憲で徴兵制が施行されたら・・

事務局 若松麟二

◆朝日新聞や毎日新聞の憲法記念日に際し、改憲についての世論調査を行いその結果が5月3日紙面に公表されました。予想はしていたが憂うべき結果が数値に現れました。改憲を支持する人たちは、自民党の改憲草案がそのまま国会審議に持ち込まれたら、その結果として、どんなことが待ち構えているか、想像したことがあるのだろうか。

今自公政権は、専守防衛とは異なる「敵基地攻撃能力」を有する装備の保持を言い出したが、あまりに直接的表現過ぎたと思ったのか「反撃能力」と言い直したが、反撃も攻撃も同じ戦闘用語じゃないか。しかも防衛費をGDPの2%に予算を増額させようと目論んでいるが、現在日本の国防費は5兆3千億円であり、世界9位の軍事費を要しているのです。米国や中国と比べたら、国土面積や人口比何十分の一のちっちゃな国が、軍事費で世界第3位になってしまうなんて何を考えているのだろう。

自民党の改憲草案は個人の権利より家、家族より国家が優先するとしており、国のために人があるという考えです。まるで戦前回帰の滅

私奉公、それでいいのかと私は問いたい。

自衛隊は、名実共に軍隊化し、徴兵制が施行され、先に成人年齢を引き下げられた18才から、兵役に召集されるでしょう。何故なら、日本は四十年もの間少子化が進んでいるから、自衛隊の入隊者に苦勞しているのです。自衛官充足率は陸自・空自は91%台、海自は94%台でいずれも100%に達していません。自衛隊の装備に今後追加装備が見込まれる宇宙状況監視(SSA)衛星、迎撃ミサイルシステム等々専門化が進み設備を駆使できる人員が不足しており、現在の隊員だけでは対応できず、民間からの徴用とならざるを得ないことは明白です。

徴兵されるのは、あなた本人かもしれません、あなたのお子さんやお孫さんかもしれません。それでも改憲に賛成しますか、わたしは私の孫が戦場に行くことを必死に阻止します。

悲劇を繰り返さないために、日本国憲法が制定され、9条が明記されたのです。日本は経済力も弱まり、エネルギー資源のない国です、戦争なんかしたらひとたまりもないでしょう、日本は体力勝負は向きません。あくまでも非戦を貫き、スマートな外交こそが日本の進む道だと私は考えます。



◀日本国憲法の施行は、終戦から2年目の1947(昭和22)年5月3日。今年で75年に▶
2016年南相馬市が『憲法』冊子を配布。また1971年旧原町市発行の『憲法』冊子を2007年に本会が復刻版を発行しました。ご希望の方は事務局井上か事務局員にお申し出ください。

◀世論調査▶ 憲法施行75年の「朝日」「読売」新聞などの世論調査は、おおむね
「改憲必要」58%と増えていても、「9条支持」の国民は多数です！
「9条変えない方がよい」59%・「9条変える方がよい」33%

与党の中でも公明党石井啓一幹事長は5月13日「憲法9条改正、必要ない」と明言していますが。

♪ 憲法前文は40年前にソフトロックの歌になっています♪



○40年ほど前の1983年のことですが、歌手きたがわてつさんが「日本国憲法」前文をソフトロックで歌い、当時、ソノシート<左>として発売されました。

その頃、相双地区の中学校社会科教員だった橋毅先生(故人)は相馬高校同窓生で同郷の憲法学者鈴木安蔵氏を誇りに思い、「鈴木安蔵が起草した日本国憲法の歌を聴いてください」と同僚の先生方に、ソノシートをプレゼントしたそうです。